

中学校給食をどう考える

問 小中一貫教育の取り組みが本格化しており、学校教育環境検討委員会で中学校給食についての議論が行われているようだが、考えは。

答 第一回目の会合で、委員から中学校給食を検討してほしい旨の意見をいただいた。今後、小中一貫教育を進める上で望ましい教育環境のあり方を審議いただく中で、中学校給食についてもより具体的な議論がされると考えており

検討委員会での議論を注視する。



新市町の小中学校で人気No.1の揚げパン

地域と連携して防犯カメラの設置を

問 ①設置する場所と台数は。②行政、警察、地域住民や事業所等が連携した防犯活動は。

答 ①26年度は、防犯上高い効果が期待できる公共空間や、不特定多数の市民が利用する本庁舎などに60台の設置を予定し、地域住民が不安を感じている場所に地域団体や事業者が設置する防犯カメラ50台分の助成を予定している。28年度までに、230台程度の

設置を予定しているが、設置に当たっては、プライバシーに十分配慮した管理・運用基準を策定し、補助する地域団体・事業者へは管理・運用ガイドラインを示すなど整備の趣旨・目的等を周知する。②引き続き行政機関だけでなく、地域・事業者と一体となった協働の取り組みを推進する中で、防犯



作動中の街頭防犯カメラ。カメラの設置もその一助としていきたい。

老朽化が進む廉塾の早急な保存修理を

問 江戸時代の儒学者である菅茶山が開いた私塾で、本市の誇れる貴重な文化財の一つである廉塾は、老朽化が進み、早急な保存修理が必要である。整備に当たっては所有者の意思が一番だが、協議内容と支援体制は。

答 昨年末に所有者と面談し、廉塾が全国に誇れる貴重な文化財であり、現行制度の中で保存に向けた検討を進めることをお互い確

認した。



廉塾（講堂）

協議して地域の皆さまのご協力も得ながら保護に努める。

今後は、建物の詳細な調査に向けた準備を進め、所有者の意向を尊重しながら、保存修理に向けた手続き等について積極的に支援し国・県など関係機関とも引き続き

公明党



塚本 裕三

イノシシ被害の対策は

問 ①捕獲を猟友会の協力による捕獲班に依頼しているが、現状と課題は。②捕獲したイノシシの処分は。③食肉加工施設を整備するなど捕獲したイノシシの肉を有効利

用する考えは。

答 ①班員の平均年齢は65・6歳と高齢化が進み、後継者の確保や育成が喫緊の課題である。26年度は、狩猟免許取得費や猟銃所持許可申請費用の一部を補助する予定である。

②捕獲者の責任で自家消費するなど、適切に処理されている。③食肉加工施設の整備は、設置場所や運営主体、安定供給や採算性などのさまざまな問題があり、引き続き研究する。